

OECDグローバル議員ネットワーク東京会合（結果要旨）

平成28年4月14日

参議院国際部

<東京会合の意義>

OECDグローバル議員ネットワーク会合は、OECDの政策を加盟国議会の視点から分析し、議員によるOECDの活動についての理解を深めるとともに、各議会との一層の関係強化を目的として2003年に開始された。当初は年3回パリで開催されてきたが、2012年からは加盟国議会との一層の関係強化を図るため、パリ以外でも開催されている。

我が国は、1964年以来OECD加盟国であるが、東京会合はOECDから我が国がアジア地域を先導する国の一つとして、アジア諸国とOECDの架け橋としての役割を果たす上で理想的であるとして、OECDとの共催で会議を開催することが要請され、国会がこれに応えたものである。

アジアで初めての開催となる東京会合には、ASEANから8カ国が参加した。

<会議の概要>

○4月12日（火）

開会式

冒頭、アンヘル・グリアOECD事務総長は、日本は2014年に閣僚理事会の議長を務めた際にOECDと共同で「東南アジア地域プログラム」を立ち上げるなどOECD諸国と新興のアジアの非OECD諸国との架け橋としての役割を担っていることから、東京会合はシンボリックなものであり、OECDと日本国会が世界の国会議員に政策課題とベスト・プラクティスを共有するプラットフォームとなることを希望していると述べた。引き続き日本国会代表団の二階団長が、グローバルな課題に対するOECDの施策について立法府、国民の代表の視点から意見交換を行うことの意義、ASEAN加盟国の議員による東南アジアの視点から積極的な議論がなされ、東京会合がOECDとASEANとの一層の関係強化の一助となることを願うこと、自らも日本とOECDとの関係強化、OECD加盟国の議員との交流、OECDの東南アジアへのアウトリーチを促進したいなど述べた後、開会が宣言された。

第1セッション「世界経済の展望（アジア経済の展望を含む）」

アンヘル・グリアOECD事務総長から、世界経済とアジア経済の見通し及び政策課題について基調演説が行われた後、経済連携協定の拡大に向けた取組、イノベーションの活用、アベノミクスを踏まえた日本の経済の現状と課題、日本の格差・貧困の現状、教育予算の現状と拡充の必要性、労働生産性の改善に向けた各国における政策措置、官民連携に関する欧州の先進事例、労働市場における女性や移民の活用等について議論が行われた。

第2セッション「ジェンダー～経済成長の推進力としての女性」

経済成長の推進力としての女性の活躍に関する取組や課題についてOECDのキャサリン・カンデア広報局次長、村上由美子東京センター所長からの発言に続き、日本国会代表団員その他、OECDからの依頼を受けて閣僚経験のある日本の女性国会議員も参加し、男女共同参画社会形成に向けた取組の経緯、女性の社会参加を拒む要因となっている税制と社会保障の一体的な改革の必要性、育児休暇制度の柔軟化及び男性による育児休暇取得率向上に向けた北欧における取組、女性の育児休業率のみが上昇することが経済成長に与える負の影響、宗教とジェンダー平等に関する課題、仕事・子育て等の男女分担に関する意識改革の必要性、ジェンダー平等を推進するため更なる女性の政治参画の必要性、ジェンダー主流化に向けて議会人が果たすべき役割等について議論が行われた。

第3セッション「防災」

自然災害が経済に与える影響も踏まえた上でレジリエンスを高めるためのリスクマネジメントの必要性に関して、OECDのロルフ・アルター行政管理・地域開発局長からの発言に続き、東日本大震災後の国土強靱化に向けた基本法の制定を始めとする日本の取組、防災に関する高校生サミットなど若者の防災意識を高めるための取組、台風ヨランダ等による被害及びその経験に基づくハザードマップの策定などフィリピンにおける事前防災の取組、リスク管理における国及び地方自治体の責任の明確化の必要性、「世界津波の日」の制定など防災に関する認知度向上に向けた取組の重要性、防災の主流化に向け議会人が果たすべき役割、気候変動に伴い頻発する水害及びその対応策、災害により分断されない強固なサプライチェーンの構築に向けた国際協力等について議論が行われた。

○4月13日（水）

第4セッション「地域課題～アジアからの視点」

アジアにおける地域統合の現状と課題、アジアと世界経済との連携に関して、OECDのランダール・ジョーンズ経済局日本・韓国課長、マリオ・ペッツィーニ開発センター所長、ERIA（東アジア・ASEAN経済研究センター）の西村英俊事務総長からの発言に続き、質の高いインフラを通じたASEAN連結性の強化、TPP、RCEP（東アジア地域包括的経済連携）等の広域経済連携に向けた取組とFTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）構想、OECDとERIAの連携強化、ASEAN議員会議（AIPA）におけるERIAの活用、OECDの知見をASEAN諸国に拡大させるため東南アジア地域プログラムの一層の充実化等について議論が行われた。

閉会式

閉会式ではまず、日本国会代表団の二階団長から、今次会合は自国の立法プロセスや政策監視に関心の高い分野につき、OECD独自の分析や提言を共有する貴重な場であり、立法府に身を置く者同士が、同じテーブルに着き、共通の関心事項について忌憚のない議論を交わすことができたことを嬉しく思う旨発言があった。

次に日本国会代表団の鶴保副団長から、会議を総括して、東京会合の成果として、参加各国の地域の現状と経験を踏まえて展開された議論により、各国に提言を行う立場にある

OECDに有益なインプットができたこと、OECD非加盟国へのアウトリーチに関しOECDにとっては、将来の加盟を見据えたアジア諸国との関係強化、非加盟国にとってはOECDの知見の共有という観点から有益なものであったことを挙げた上で、我が国は、アジア地域とOECDの架け橋として今後とも積極的な役割を果たしていく所存である等発言があった。

最後にグリアOECD事務総長から、今次会合の主催に関し、二階団長及び鶴保副団長を始め日本の議員の尽力に謝意が示されたほか、次回パリで開催される予定のグローバル議員ネットワーク会合について案内がなされた後、今次会合は出席者一同の拍手をもって閉幕した。

(了)

OECDグローバル議員ネットワーク東京会合
日本国会代表団名簿

団 長	衆議院議員	に 二 つ	階	とし 俊	ひろ 博	君	(自由民主党)
副団長	参議院議員	鶴	かい ほ 保	よう 庸	ひろ すけ 介	君	(自由民主党)
	同	まつ 松	やま 山	まさ 政	じ 司	君	(自由民主党)
	同	なか 中	にし 西	けん 健	じ 治	君	(自由民主党)
	同	み 三	き 木		とおる 亨	君	(自由民主党)
	同	かみ 神	もと 本	み 美	え 恵	こ 子	君 (民進党・新緑風会)
	同	ふじ 藤	た 田	ゆき 幸	ひさ 久	君 (民進党・新緑風会)	
	同	にい 新	づま 妻	ひで 秀	き 規	君 (公明党)	
	同	いの 井	うえ 上	さと 哲	し 士	君 (日本共産党)	
	衆議院議員	かわ 河	むら 村	たけ 建	お 夫	君 (自由民主党)	
	同	ふく 福	い 井		てる 照	君 (自由民主党)	
	同	やま 山	ぐち 口		つよし 壯	君 (自由民主党)	
	同	い 伊	とう 藤	ただ 忠	ひこ 彦	君 (自由民主党)	
	同	まつ 松	もと 本	よう 洋	へい 平	君 (自由民主党)	
	同	かど 門		ひろ 博	ふみ 文	君 (自由民主党)	
	同	かつ 勝	ぬま 沼	しげ 栄	あき 明	君 (自由民主党)	
	同	こ 小	ばやし 林	たか 鷹	ゆき 之	君 (自由民主党)	
	同	なか 中	がわ 川	まさ 正	はる 春	君 (民進党・無所属クラブ)	
	同	しの 篠	はら 原		たかし 孝	君 (民進党・無所属クラブ)	
	同	あお 青	やぎ 柳		よういちろう 陽一郎	君 (民進党・無所属クラブ)	
	同	おか 岡	もと 本		なり 成	君 (公明党)	
	同	ふじ 藤	の 野		ふみ 史	君 (日本共産党)	
	同	まる 丸	やま 山	ほ 穂	だか 高	君 (おおさか維新の会)	
	同	なが 長	さき 崎	こう 幸	たろう 太郎	君 (無所属)	